

さくらで咲く。

JA福島さくら リクルートガイド RECRUIT GUIDE

サポート制度

～職員一人ひとりの成長のために～

●新人職員サポーターシップ制度

採用1年目の職員に、同一部署又は同フロアの先輩職員がサポーターとして、業務についての相談相手や社会人としてのアドバイスを行います。

また、マナー研修やコンプライアンス研修等も受講いただけます。



●福利厚生

制服貸与

男子職員制服/ブルゾン、パンツ、夏用ポロシャツ
女子職員制服/夏用、冬用

職員旅行(年1回)

職員研修旅行(助成制度あり)

慶弔見舞

結婚祝・出産祝・
新築祝・弔慰金

運動部、レクリエーション (福島県JA職員連盟)

野球部・サッカー
男子バレー・女子バレー



CSR 活動



●交通安全教室

JA福島さくらでは、管内の保育所・幼稚園、小中学校の児童を対象に、交通安全教室を実施し、地域の子供たちに、正しい道路の渡り方や自転車の乗り方などをわかりやすく学んでもらう活動を行っています。



●おむすびフェス

食農教育の一環として、管内の組合員と一般の家族を対象に、日本で昔から受け継がれるおむすびの作り方や、オリジナルおむすびコンテストを行っています。



●地域美化運動

地域貢献活動の一環として、毎年11月の農協法公布の日にちなみ管内の駅周辺や、支店事業所周辺の清掃活動を行っています。



発行：福島さくら農業協同組合
福島県郡山市朝日二丁目14-7
TEL.024-922-3733 FAX.024-923-8904
HP <http://www.ja-fsakura.or.jp/>
編集：総務部人事管理課
発行日：2022年●月

JA福島さくらの各サービスはコチラからご確認いただけます！



JA福島さくら
イメージキャラクター
さくらちゃん

 JA福島さくら

JA福島さくらの経営理念

“農業の振興と地域社会への貢献 ～「緑の輝き」「地域の輝き」～”

「**緑の輝き**」は“地域の元気でたくましい農業” “美しくかけがえない自然” “農家組合員の活力ある営農の姿”を表し、

「**地域の輝き**」は“地域社会の発展” “健康で心豊かなくらし” “次代の子供たちの姿”を表します。

すなわち、2つの輝きは「**農業振興**」と「**地域貢献**」を意味します。

JA福島さくらの経営方針

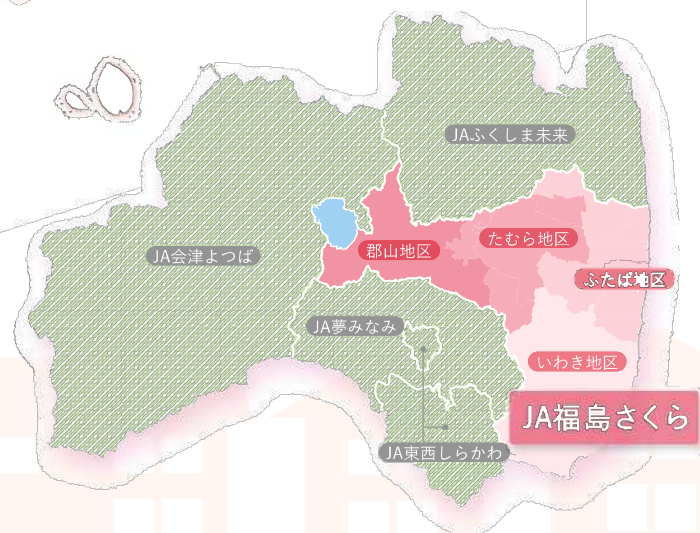
“より身近に、より信頼される JAづくりの実践”

わたしたちは、地域の農業を振興し、ふるさとのかけがえない自然を守り、健康で心豊かなくらしづくりを応援します。
そして、愛され信頼されるJAをめざして、誠実に、着実に歩みます。

県内の幅広いエリアで 農業をお手伝いしています

JA福島さくらは、福島県内の郡山地区、たむら地区、ふたば地区、いわき地区で農業のお手伝いをしています。各地区内の農畜産物の生産・販売に係わる活動を通じて、組合員のさらなる農業所得向上・次代へ繋ぐ地域農業の発展に努めています。

また、くらしの中で感じるニーズに対して組合員や地域住民の皆さまが行っている取り組みをJA福島さくらの各事業拠点を中心にサポートする活動を展開しています。各地域組織のネットワーク化を進め、共同活動の輪を広げながら、くらしの「安全・安心」が確保される地域社会の形成を目指しています。



JA福島さくらの事業活動

JAとは、相互扶助の精神のもとに農家の営農と生活を守り高め、よりよい社会を築くことを目的に組織された協同組合です。

この目的のために、JA福島さくらは農業を軸としながら様々な事業活動を行っております。



営農事業

地域に根ざした営農支援や地域特性を活かした販売支援を行いながら、皆様に信頼され、ご満足いただけるような営農指導に取り組んでいます。



信用事業

組合員・利用者の皆様の「農業」と「生活（くらし）」を支え続ける金融機関として、地域農業の振興と地域社会の発展に貢献し、身近で便利な地域金融機関として、組合員や地域の皆様から「選ばれ信頼されるJAバンク」を目指してまいります。



共済事業

JA共済の「ひと・いえ・くるまの総合保障」のメリットを活かした3Q訪問活動やはじまる活動をととして、相談・提案型の普及活動を積極的に展開。組合員・利用者の皆様の生涯にわたる生活保障の確立と、満足度の向上に向けた取り組みを実践しています。



購買事業

生産資材を提供する「生産購買事業」、くらしの商品を提供する「生活購買事業」、農業機械、食材などのサービスを提供する「拠点型購買事業」の3つを中心に事業展開しています。



販売事業

常に食の安全・安心を担う責任ある産地であり続けるよう、流通の自由化や多様化するニーズにも対応し、JAのブランド力を活かして、地域の特色ある農畜産物の販売に取り組んでいます。



福祉事業

地域に暮らす全ての高齢者が、安心して、自分らしく、生きがいをもって生活できるための支援と介護サービスの提供に取り組んでいます。

質よくある質問 Q&A



学校訪問・合同企業説明会などで良くある質問を簡単にまとめてみました。

JA(農業協同組合)ってそもそも何? 何をしているの?

Q 株式会社との違いはなんですか?

A 目的・運営の違いから見てみましょう。協同組合は、組合員の願い—例えば「おいしい農産物を作りたい」「健康で長生きしたい」—といった思いや願いを実現することが目的であり、その願いは、JAへ出資し、JAの事業を利用したり、活動に参加することによって実現することになります。

一方、株式会社は最大利益を獲得し株主へ配当することが目的です。運営方法は、JAが1人1票であるのに対し株式会社は1株1票。つまり、株式会社の運営はお金を多く出している人の意見に左右されることになります。

株式会社が“お金”中心、JAは“人”が中心であるといわれるゆえんです。この違いは、協同組合が「豊かにくらしたい」という人の願いは、誰も同じであり、人は平等である」という価値観に基づいているからにほかならないのです。



Q そもそもJAとはなんですか?

A JAとは「農業協同組合」の愛称で、株式会社とも行政など公の機関とも異なる“協同組合”という組織です。協同組合とは「参加するメンバー（以下、組合員といいます）が手を取り合って助けあい、力を合わせて、事業や活動を通じてみんなの願いや課題を解決する仕組み」です。

JAが大切にしているのは、農業の生産力を高めること、農業所得を向上させること、地域の農業を発展させることなど農業のことはもちろん、さらに広い意味での「農」、農村の暮らしや農業がつくる景観、そして日ごろ私たちが口にする安全な食料についても大切に考えています。



Q なぜJAは多くの事業をしているんですか?

A JAは多くの事業を営む総合事業体の形態をとっています。それは、農業者は農業経営と生活が密接に結びついているからです。

農業で得られた収入を家計に回し、生活に必要な商品の購入や貯蓄、もしもの時のための共済に加入して、さらに農業や生活のために資金を借りる、病気や家族の介護のためのサービスを利用できます。

このため、JAの事業は「農業と生活を総合的に応援する仕組み」をとっています。



先輩への質問のQ&A

実際に福島さくら農業協同組合で働く先輩職員に、職場の楽しさ不安を質問してみました。

先輩職員はどんな働き方をしているのかな?



Q 一緒に働きたい人を教えてください。

コミュニケーションを取るのが上手な人です。職場内での上下、横の連携はもちろん組合員さんとも毎日接することになるのでコミュニケーション能力は必要だと思います。
(購買事業担当/入組6年目)



Q 業務上大変なことはなんですか?

来店されるお客様のニーズがそれぞれ異なるため、様々な要望に間違いなく応えなくてはならない部分が大変だと思います。お客様からすれば新人もベテランも関係ないので、プロとして仕事をしないとイケない部分もはじめはかなりプレッシャーに感じました。
(信用事業担当/入組3年目)



Q 職場の環境を教えてください!

融資業務は、自身がお客様と1対1でより良いものを提案していきます。職場の雰囲気は明るく、分からないことやお客様対応中に困った場合には、助言を求めたり、上司に同席を依頼したりと助け合える環境です。
(融資担当/入組2年目)



Q 仕事とプライベートの両立はどうしていますか?

職場についたら仕事に集中、逆に職場を出たら仕事のことを忘れ好きなことに没頭するようにしています。プライベートを充実させることで、仕事にも精が出ると私は考えます。休みも取りやすい環境のため、仕事とプライベートの両立をすることは難しくありません。
(福祉事業担当/入組2年目)



Q 帰宅後の過ごし方を教えてください!

帰宅後はプライベートの時間として、ショッピングをしたり、明日の仕事のために休息をとる等自由に時間を使っています。また、従業員数の多い当JAでは、趣味の合う同僚等と個人的に旅行に行ったり、映画やレジャー等に行き、充実した休日を過ごしています。帰宅後は一度仕事の事は忘れ、全力で趣味を楽しむ事にしています。明日の自分に任せましょう。
(営農事業担当/入組6年目)





令和元年度 入組
いわき地区 小川営農経済センター 所属
SONOBE.Y

すぐに成果が出ずとも、自分自身の経験が糧となり、次の営農指導につながっていく。

どんな仕事をしているの？

私は小川営農経済センターで営農指導を担当しており、現在は、いわき梨部会も担っています。部会員数は62名で好間・内郷・平窪・赤井・小川・高萩支部の6支部で構成されています。

4月から8月までは現地指導会やほ場巡回などで組合員様を訪問して農薬適正使用やほ場の状態を確認して肥料や農薬の相談・推進を行い、良品の出荷に向けた営農指導などを行っています。また、8月からはいわき梨選果場に常駐し梨の選果を行っています。その他には、購買品の販売や事務作業など多岐にわたる総合事業です。



仕事をする上での“やりがい”

農業は労働・経済コストがかかる仕事です。コストの省力化や農薬・肥料の代案等の営農指導を行います。成果が出るとは限りません。

ですが、成果が出ずとも軌道修正をすることで組合員様との間に信頼関係を築き、別の営農相談をされることがあります。自分自身の経験が糧となり次の営農指導につながるのやりがいの一つです。

先輩職員からのメッセージ

JAでは様々な事業を行っています。

営農事業、信用事業、共済事業、購買事業と、ひとくりにJAといっても様々な事業があります。なので、自分の長所に合った仕事を見つけられると思います。

その長所を生かして組合員様の為に、ひいては地域の為にがんばれる仕事です。一緒に頑張りましょう！

🕒 1日のスケジュール

- 08:30 始業・業務打合せ
- 09:00 各ほ場巡回
- 12:00 昼休憩
- 13:00 店舗窓口対応・営農相談等
- 14:00 各ほ場巡回
- 16:00 事務処理
・配達伝票整理
・不在中電話の対応等
- 17:00 終業(終礼)

組合員様と関わりが多いので、コミュニケーション能力も大切になってきます！



令和2年度 入組
ふたば地区 JA福島さくら富岡支店 所属
ARAKI.N

お客様の大切な資産に直接関わる業務だから、「お客様の役に立てた」が、なによりも嬉しい。

どんな仕事をしているの？

支店で貯金窓口を担当しています。貯金といっても単に入出金を行うだけではなく、お客様の貯金口座を管理しており、例えば普通貯金や定期貯金の口座開設、解約なども私たちの仕事です。県内外のJAの支店や他金融機関へのお振込、税金の納付などといった為替業務も担っており、私たちの生活に身近であるといえます。また、個人のみでなく法人や地区の団体貯金などお預かりすることがあります。

貯金窓口の仕事にはお客様の信用あってこそです。お客様の大切な資産に直接的にかかわる業務が多いので、何度も確認しながら慎重に処理しています。



仕事をする上での“やりがい”

私がやりがいを感じる時は、お客様の要望に沿った提案をできたときです。

例えば、疑問や相談があってご来店やご連絡いただいたお客様に「なるほど」「よかった」と安心した様子でおかえりいただいたときに「お客様の役に立てた」と嬉しい気持ちになり、また頑張ろうと思えるモチベーションになっています。

先輩職員からのメッセージ

私には、入組当初に基礎基本を教えてもらった尊敬する上司がいます。今でも兄や姉のように仲良くしていただいております。伝えきれない程に感謝している方々です。

社会人になると良い出会いがあります。尊敬できる人がいると仕事が割増で楽しくなります。就職活動は大変ですが、良い出会いに向かって頑張ってください！

🕒 1日のスケジュール

- 08:30 始業
・窓口来店対応
・事務処理
(税金、事前に預かっていた業務等)
- 12:00 昼休憩
- 13:00 午後始業
・窓口来店対応
・事務処理
(午前の続き)
- 15:00 窓口終了
・現金精査
・入力票整理
(郵便物、他店回付書類等ため)
・翌日の書類等準備、作成
- 17:00 終業

2か月に1回、偶数月に年金受給日があるので、残業になる時もあります！



平成29年度入組
たむら地区 JA福島さくら三春支店 所属
NODA.K



人生に寄り添うものだから、人と人との関係を大切に。
お客様のライフスタイルにあった共済をご提案。

どんな仕事をしているの？

現在は、L A (ライフアドバイザー) といって、新規のお客様のライフスタイルにあった生命共済、地震を含めた建物共済等の営業活動をしています。

主にお客様のもとへお伺いし、気になっていることやご要望などをお聞きして、満足いただけるような商品提案をすることが仕事です。生命・建物共済が主な担当ですが、時には金融の営業や相談にのることもあります。JA共済は「ひと・いえ・くるま」の総合保障で、地域の皆様の暮らしに関わり、サポートできることが特徴です。良い情報をお届けできるよう、日々勉強しています。



仕事をする上での“やりがい”

やはり、「ありがとう」の言葉をいただいた時に感じます。共済推進にほとんどの時間を費やしておりますが、ご契約いただいたお客様のアフターフォロー、近くを通った際の近況確認を大事にしています。

とても喜んで下さり、ご家族等をご紹介いただくことも少なくありません。その時は、私自身すごく嬉しいことですし、「やりがい」を感じます。

先輩職員からのメッセージ

JAは、全国的に知られている組織です。その名に恥じぬよう、日々の職務を遂行してください。

大きい組織のため、先輩職員、OBがたくさんいます。新しく横の繋がりも出来ると思いますし、自分を試すのには適した職場です。営農から金融共済、労務管理、旅行業務等かなり幅広い内容になっておりますので、どこかであなたの腕が光るかも!!

🕒 1日のスケジュール

- 08:30 始業・推進準備
- 09:00 組合員宅訪問 (午前)
- 13:00 昼休憩
- 14:00 組合員宅訪問 (午後)
- 16:00 帰店
・事務作業
・顧客情報の確認
- 17:00 終業

その日のアポイントによって一日のスケジュールが異なり、終業後、お客様のお宅へ訪問することもあります。



令和2年度入組
郡山地区 JA福島さくら熱海支店 所属
WATANABE.Y



良い資材を安く、そして安定的にご提供する責任。
イチバンのやりがいは、皆様の笑顔。

どんな仕事をしているの？

JAの店舗には、金融窓口、共済窓口、営農センターがあり、日々様々な方が来店されます。購買事業とは、組合員様に、農業に必要なものから生活を豊かにするものまで、良い資材を安く・安定的に提供する事業だと考えています。

私は、購買部門で肥料や農薬など農作業に使う生産資材、調味料や日用雑貨、衣類などを販売しています。たくさんある肥料や農薬の中からそれぞれの農作物や時期にあった商品を提供・説明をしたりします。また、季節によってよく売れるものが変わってくるので、たくさん売れる時期に合わせて発注するのが主な仕事内容です。



仕事をする上での“やりがい”

1番は組合員様の笑顔を見られた時です。自分の業務でお礼を言われる時や、担当外の内容に対し、担当の方に引継ぎ、無事解決したときに組合員様にお礼を言われる時はとても嬉しく思います。

また、担当ではない業務でも内容を説明できるようになると組合員様とも色々なお話ができるようになるので、その時とてもやりがいを感じます。

先輩職員からのメッセージ

最初は職場にいただけで緊張すると思いますが、どんなことでもいいので気になったことは聞いてみるといいと思います。

また、JAは本店や各支店において様々な事業があります。違う支店の同じ事業でも内容が少し違ったりもするので男女問わず色々なことに挑戦できると思うので頑張ってください。

🕒 1日のスケジュール

- 08:30 始業
・窓口対応
・事務処理
(配送伝票作成、未収金管理、その他雑務)
- 12:30 昼休憩
- 13:30 午後始業
・購買POSの現金を合わせる
・配達があれば何件か配達に出る
- 17:00 終業

残業するときは棚卸の時間が多く、1~2時間ほど残業します。





データで見る



JA福島さくらってどんな組織？
事業内容、働きかた、人事、etc...様々な情報をデータでご紹介します！

